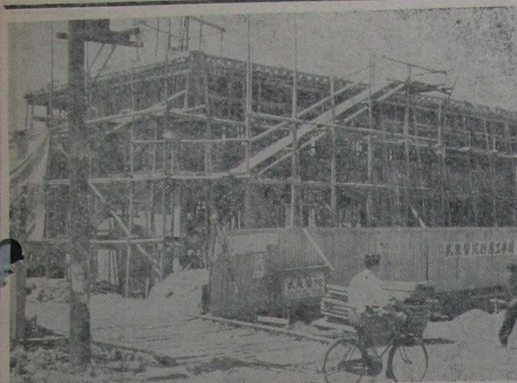


中高層貸付： 抽せん等がなく条件次第！

申込みは九月三十日まで

防火帯設定地

中高層耐火建物の防火帯は、耐火構造の壁で、耐火性能が一定以上のものでなければならない。防火帯の幅は、耐火構造の壁の厚さと同じく、耐火性能が一定以上のものである。防火帯の耐火性能は、耐火構造の壁の耐火性能と同等である。防火帯の耐火性能は、耐火構造の壁の耐火性能と同等である。防火帯の耐火性能は、耐火構造の壁の耐火性能と同等である。



中高層耐火建築物等融資関係実例表(但し防火建築帯内)

建築計画	坪数	計坪数	融 資 額	当初償還金		自己負担金
				元	利息	
1階 店舗	18,939坪	37,878坪	④×58,000×75%=1,640千円	13,660円	7,516円	462千円
2階 住宅	18,939坪			2,651千円	549千円	
1階 店舗	30坪	60坪	④×58,000×75%=2,610千円	21,750円	14,137円	720千円
2階 住宅	30坪			4,200千円	870千円	

高率補助坪100%確定 連鎖店建設が多い大町商店街

大町商店街は、大町市街の中心地であり、人口の約半数が居住している。この商店街には、多くの連鎖店が建設されており、その数は年々増加している。この増加は、大町市の経済発展を促進している。また、大町市は、高率補助を定めており、連鎖店建設の促進を図っている。この補助は、連鎖店建設の促進に大きく貢献している。

補助金追加申請ができる 建築主の実情によって

建築主の実情によって、補助金の追加申請が可能である。これは、建築主の経済状況や、建設の進捗状況などによって判断される。補助金の追加申請は、建築主の利益を守るために重要な手段である。また、補助金の追加申請は、建築主の負担を軽減する効果がある。このため、建築主は、補助金の追加申請を検討することが重要である。

年度内に竣工し竣工出来る場合と来年度以降に竣工する場合との補助額比較表

建築種別	構成区分	年度内に竣工し竣工出来る場合		来年度以降に竣工する場合		補助差額
		全面積×14,500円	補助額	全面積×14,500円	補助額	
30坪	1階 店舗	30坪×14,500円	435,000円	30坪×14,500円	163,350円	271,650円
	2階 住宅					
50坪	1階 店舗	50坪×14,500円	725,000円	50坪×14,500円	272,225円	452,775円
	2階 住宅					
100坪	1階 店舗	100坪×14,500円	1,450,000円	100坪×14,500円	544,500円	905,500円
	2階 住宅					
120坪	1階 店舗	120坪×14,500円	1,740,000円	120坪×14,500円	653,400円	1,086,600円
	2階 店舗					
	3階 住宅					

(但し①の場合で全面積補助か、②面積補助かは年度毎に決定されるものです。)

中小企業者 共同建設

中小企業者共同建設は、中小企業者の共同で建設を行う制度である。この制度は、中小企業者の負担を軽減し、建設の促進を図ることを目的としている。また、中小企業者共同建設は、中小企業者の利益を守るために重要な手段である。このため、中小企業者は、共同建設を検討することが重要である。

伝染病シーズン 昆虫の退治

伝染病シーズンは、昆虫の退治が重要である。この時期には、多くの昆虫が繁殖し、伝染病の原因となる。このため、昆虫の退治は、伝染病の予防に重要な手段である。また、昆虫の退治は、衛生の向上にも貢献している。このため、市民は、昆虫の退治を行うことが重要である。



七月の家庭菜園

七月の家庭菜園は、野菜の収穫が盛んな時期である。この時期には、多くの野菜が収穫でき、新鮮な野菜を楽しむことができる。また、家庭菜園は、市民の健康増進にも貢献している。このため、市民は、家庭菜園を行うことが重要である。

